

風水害・地震等に対する登下校対応フローチャート

児童の安全確保を万全なものとするため、災害発生時の対応手順を以下のフローにまとめています。

【最重要】 早朝の停電やシステム障害等で学校からの連絡が遅れる場合があります。電話やメールの受信を待たず、気象警報の発表状況をもとに各ご家庭で優先してご判断ください。

登校前

の対応フロー（ご自宅での判断）

状況・判断基準	学校の対応	ご家庭の対応
【午前 6 時時点】 警報・レベル 4 発令 ・ 暴風 / 大雪 / 暴風雪警報 ・ 火山噴火降灰予報 ・ レベル 4 危険警報(大雨、高潮) ※対象: 神奈川県全域、東部、横浜市北部/南部	臨時休校 ・ 横浜市立学校一斉休校	登校を見合わせる ・ 自宅待機を実施してください。 ※学校からの個別のメール配信・電話連絡は行いません。
【午前 6 時以降、学校判断】 警報発令の見込み 上記警報の発令が見込まれ、登下校の安全確保が困難と学校が判断した場合	臨時休校(学校判断) 状況に応じて休校措置をとります。	連絡確認・情報把握 ・ 学校からのメール配信等を確認。 ・ 気象庁や横浜市の最新情報を確認。
【家庭判断】 警報未発令だが危険 警報は出ていないが、強風・大雨・大雪等で登校が危険とご家庭が判断した場合	原則として通常授業 学校は通常通り開校します。	家庭判断で登校回避可能 ・ 安全を最優先にご家庭で判断。 ・ 危険と判断して休んだり遅れたりした場合も「欠席・遅刻扱い」になりません。
【大地震発生】 震度 5 強以上の地震発生 横浜市域で、震度 5 強以上の地震が発生した場合	臨時休校 ・ 発生当日および翌日は横浜市立学校一斉休校。 ・ 授業開始時はメール配信・校門掲示等で周知。	自宅待機・情報確認 ・ 身の安全を確保し自宅待機。 ・ 学校からの連絡や掲示を確認。
【南海トラフ】 注意情報・警戒宣言 南海トラフ地震「注意情報」または「警戒宣言」が発令された場合	原則として通常授業 学校は通常通り授業を行います。	家庭判断で登校回避可能 ・ 危険と判断して休んだり遅れた場合も「欠席・遅刻扱い」になりません。

登校後

の対応フロー（学校在校時）

状況・判断基準	学校の対応	ご家庭の対応
【悪天候】 天候悪化・警報発表 登校後に警報・レベル 4 危険警報等が発表された場合、または悪天候時	留め置き → 引き渡し ・ 児童を安全に校内保護。 ・ 状況により下校繰り上げ。 ・ 回復時は通常下校の場合あり。	引き取り準備・待機 ・ TV/ラジオ等で状況把握、外出控え。 ・ 学校連絡・メール配信に沿って迎え。
【地震】 震度 5 強以上の地震発生 ・ 横浜市域で震度 5 強以上 ・ または交通混乱/停電/火災等で帰宅が危険な場合	学校待機 → 引き渡し ・ 校内の安全な場所に避難・留め置き。 ・ お迎えがあるまで確実にお待ちします。	学校へ引き取り ・ 通信障害等で連絡が遅れる場合も、状況を判断し学校へお迎えをお願いします。
【南海トラフ】 注意情報・警戒宣言 登校後に南海トラフ地震「注意情報」「警戒宣言」が発令された場合	原則 通常授業・下校 ・ 原則は通常通り。 ・ 状況に応じて「留め置き→引き渡し」に変更。	情報把握・引き取り ・ TV 等で状況把握し外出控え。 ・ 留め置き時はメールの指示に従い引き取り。

確認手段	操作方法・アクセス先
①横浜市防災・危機管理統括本部ホームページ「防災情報」	横浜市 HP（ http://www.city.yokohama.lg.jp/ ） → 「「防災・救急」→「防災・災害」→「災害・いざというとき」→「防災情報」
②横浜市水防災情報ホームページ	携帯・PC 用 URL: http://www.bousai-mail.jp/yokohama/
③横浜市「防災情報Eメール」配信	上記2「横浜市水防災情報」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、電子メール で受信することができます。 https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/iza/jyoho/email.html
④その他の方法	・TV ニュース等の気象情報コーナー ・NTT「177」（電話で警報放送確認）

【ご注意】 携帯メール配信等は、通信インフラの混雑・遅配・システム障害により受信できない場合があります。学校からのメールが届かない場合でも、テレビや上記確認方法にて「警報」が出ている場合は、各ご家庭の判断で登校を見合わせてください。

【放課後キッズ等】 放課後キッズなどの学童クラブについては、該当施設の方針に則り、対応をお問い合わせ下さい。